

# もし大きい地震が起きたら

R8.4月改定  
臼井幼稚園

## 園内で

---

\*揺れを感じたら……園内放送で「カエルのポーズ」と放送。教室にいる子ども達は教室の中央でカエルのポーズをする。その間に防災頭巾があれば、子どもの上にのせていく。窓を開ける。カエルのポーズをしながら(誰のものでもいい)防災頭巾をかぶる。

\*園庭にいる子ども達は園庭の中央の安全な場所で教師の指示に従い、カエルのポーズをとる。

\*揺れがおさまらない場合は……園内放送で「上履きのまま外に出ましょう」と放送。園庭またはホールへ避難。

\*大きい揺れの場合……「上履きのまま外に出ましょう」で、即時避難する。

※第一避難所;臼井幼稚園園庭

第二避難所;臼井小学校

## バスの運行中

---

\*送迎バスは、運転を中止し、路肩に停車、揺れがおさまるまで待機。

\*幼稚園が近い(1km 以内)場合は幼稚園へ戻る。

\*状況を見て、運行可能な場合は、通常通り巡回する。

\*道路の状況、バスの状態などにより運行不可能な場合は、まず無線で幼稚園へ連絡。無線、携帯電話が繋がらない場合は、運転手と乗務職員の誘導により、一番近い小、中、高校などの指定避難場所へ避難。

☆東日本大震災の時は、佐倉市は震度 5 弱でした。2 便のバスの運行中でしたが、揺れが収まったため、そのまま運行を再開しました。

しかし、子どもたちの安全を考えて、3 便の子ども達は保護者にお迎えに来ていただきました。まだ幼稚園にいたバス待ちの子ども達、課外教室の子ども達、職員は全員園庭へ避難し、防寒、おやつ配布などを行ない、保護者のお迎えを待ちました。全員のお迎えが終了したのは 17 時半でした。

## 園外保育中

---

\*公園の場合は、頭上に何も無い所へ集合し、カエルのポーズ。

\*揺れがおさまったら、集合したまま、園児の人数を再確認し、幼稚園へ連絡をして指示を受ける。

## 連絡方法

---

\*連絡アプリ、インスタグラム、Google、ホームページ(電話が通じなくても、インターネットは使えていた経験に基づいて)で状況を知らせます。連絡アプリが使えれば連絡アプリで保護者の皆さまに連絡します。ご連絡がなくても、お迎えに来られるまで幼稚園でお子さまを安全にお預かりします。

## 防災備蓄品の確認

---

\*防災備品リュックを各クラスに設置。

\*防災倉庫・……・毎年1回、点検確認。

・非常食・飲料水・テント・簡易トイレ・工具類・オムツ・毛布など  
1日分程度を用意。

## 防災の考え方

---

災害は、突然の地震だけではありません。近年、ゲリラ豪雨により川が氾濫、土砂崩れなどということもありますが、幸い臼井幼稚園の立地で土砂災害はまずないだろうと考えられます。しかし、油断は禁物です。万が一、急なゲリラ豪雨で印旛沼が氾濫しそうで避難が必要！という時には、臼井小学校への速やかな避難を行ないます。

天気予報の精度が上がり、台風の円の大きさが最近小さくなったことにお気付きの方もいらっしゃるでしょう。かなりの確率で降水量などの予測もできるようになったそうです。台風の直撃、ひどい風雨、バスの運行が困難、あるいは危険と予想される雪などの場合、県庁や佐倉市からの情報提供などを精査した上で、臼井幼稚園はあらかじめ休園することをお知らせすることがあります。

「備えあって憂いなし」急な休園は親御さんも困るだろうと考えないではありませんが、ここは大切なお子さまの命の問題。万全を期すために、ご理解ください。